

## 参加費：無料

近年、中国における模倣品の被害は、商標権侵害だけではなく、特許権侵害も増加しており、海外展開する中小企業にとって悩みの種になっています。加えて、越境ECビジネスを利用する企業の知的財産の侵害リスクが高まっており、適切な対応を講じることが重要になっています。

INPIT-KANSAIと日本弁理士会関西会では、中小企業の皆様の海外展開における知的財産リスク軽減に取り組む活動を行っております。本セミナーでは、海外進出における知的財産の留意点や中国特有の知財事情などについて、知財の専門家である知財戦略エキスパートや弁理士らがわかりやすくそのポイントと対応策について解説いたします。

皆様、奮ってご参加ください。



講師  
INPIT-KANSAI  
知財戦略エキスパート  
藤盛 謙二 氏

産業機械メーカー出身。  
知的財産部門にて出願・権利化・調査・ライセンス等の一連の実務経験を経て、部門長として企業の知財戦略の策定やマネジメント業務に携わったほか、知財部員の育成・指導にあたった。また近年は、INPIT知財総合支援窓口のアドバイザーとして年間500件を超える中小企業等の様々な知財課題の解決支援に従事。



講師  
日本弁理士会関西会  
弁理士  
村井 康司 氏

国内外の商標登録業務に加えて、係争事案対応（不正ドメイン名不正登録、抜け駆け商標登録対応、買取交渉等）及び模倣品対応（ネット上・外国展示会での侵害、市場での侵害対応）を数多く経験してきた。特に、各国に赴き、現地代理人と幅広く交流を図り、顧客ニーズに対応できる現地パートナーの選任、事務処理の最適化を図ることに努めている。また日本弁理士会関西会では国際情報委員会に所属し、商標グループで活動している。



講師  
日本弁理士会関西会  
特許担当：弁理士  
藪 慎吾 氏

20年以上の日本特許出願及び外国特許出願の実務経験を有する。特に、中国の大学留学経験・中国特許事務所での2年間の実務研修経験を経て、中国特許出願の権利化実務を中心として、多くの中国特許実務に携わっている。また日本弁理士会関西会では国際情報委員会に所属し、外国特許制度に関する具体的な調査・研究・報告・日本の特許関連情報の発信並びに交流を行っている。

# アジアの強国・中国に知財で挑む INPIT-KANSAI X 日本弁理士会関西会 特別セミナー

## 2022年 1月28日 (金) 14:00~16:00

14:05~14:50 海外ビジネスを成功に導く知的財産のポイント

14:55~15:55 知財視点の日本から見た中国市場、中国から見た日本市場  
中国のプロパテントの流れと特許権取得の重要性

会場：オンライン (Zoomによる配信)

定員：100名 要事前申込・先着順 (定員に達し次第、締め切らせていただきます)

申込み方法：右のQRコードを読み取り、応募フォームからお申込みください。前日までに視聴URLをご案内します。  
主催：(独)工業所有権情報・研修館 (INPIT) 近畿統括本部 日本弁理士会関西会  
お問い合わせ：(独)工業所有権情報・研修館 (INPIT) 近畿統括本部 電話：06-6147-2811 E-mail：ip-js01@inpit.go.jp

お申込みは  
こちらから

